

クラウドで
勤怠管理

ソニーのインターネットタイムレコーダーとは？

インターネットタイムレコーダーは、ソニーが開発した非接触ICカード技術方式“FeliCa<フェリカ>”とインターネットを利用した勤怠管理システムです。ASPサービスだから管理サーバの設置が不要。遠隔地や複数拠点の勤務実績も、利用場所を限定されずに集約・集計が可能です。

ソニーのインターネットタイムレコーダーが選ばれる理由。

point 01

煩わしいタイムカードの
集計が不要

インターネットタイムレコーダーは、勤怠をデータで一元管理。集計作業も自動化できるため、毎月の集計作業に悩まされることもなくなります。

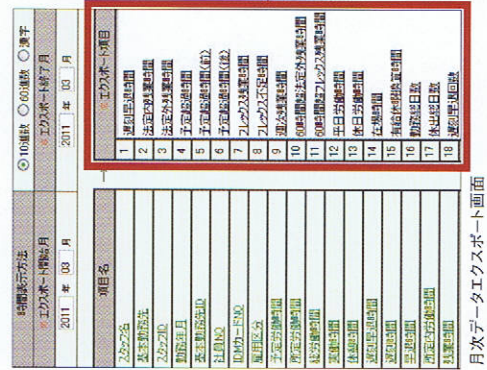
■勤怠実績をデータで一元管理



打刻画面

インターネットタイムレコーダーは、FeliCaを使った勤怠管理システム。日々の勤務実績をデータで蓄積します。タイムカードや手書きの勤務表のような手作業集計は必要ないため、ミスも激減します。

■便利なデータエクスポート機能

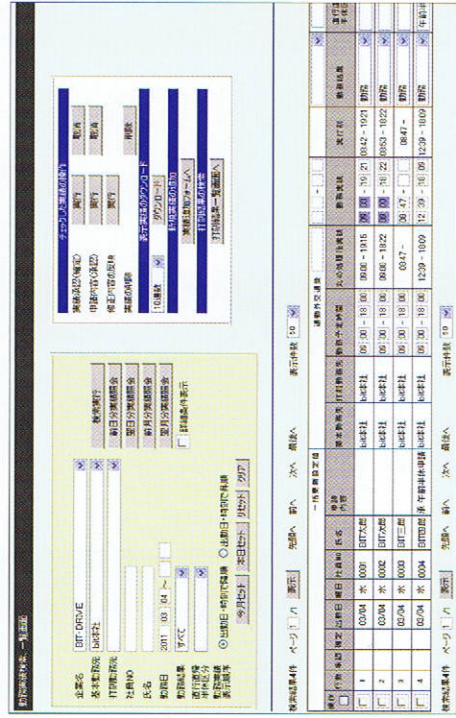


月次データエクスポート画面

必要なデータを
選択するだけの
簡単エクスポート

勤務実績データをエクスポートファイルとして出力することで、給与システムなどのデータ連携が可能です。

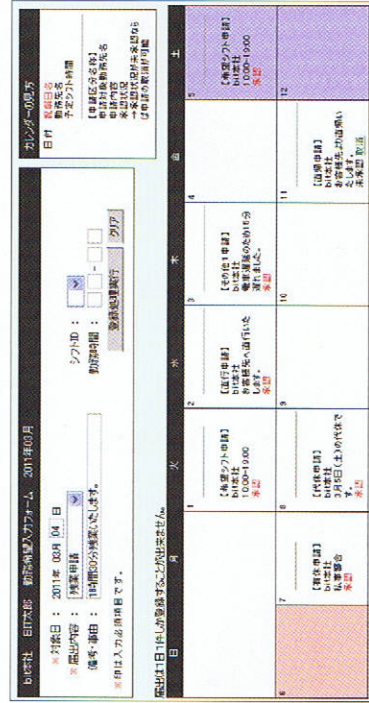
■出勤状況をリアルタイムに把握



実績確定処理画面

本部からの各拠点の勤務実績をいつでも確認できます。勤務状況に合わせて、月の途中でもシフト変更など人員配置の調整が可能。データの集計も自動で行なわれるため、業務効率が大幅に向上します。

■勤怠の各種届出申請・承認機能



スタッフ申請画面

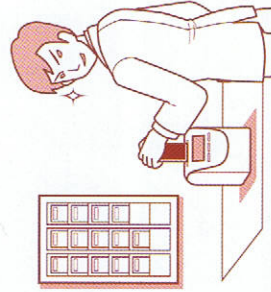
希望勤務シフトや残業、休暇などの届出申請および承認をインターネットタイムレコーダー上で行なうことができます。

point 02

労働時間を
正確に把握

インターネットタイムレコーダーは労働基準法に準拠。法改正があればシステムのバージョンアップを行ない、常に法律に準拠したサービスを提供。内部統制を強化し、法律に準拠した勤怠管理を可能にします。

■労働時間を正確に把握



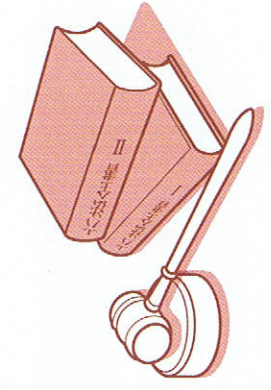
個人に支給されるICカードを利用。そのため代理打刻などの不正な打刻を未然に防ぎます。また、一度記録された打刻時間は修正できない実打刻としても保持ができます。

■より健全な職場環境のために



リアルタイムで労働時間のチェックが可能。月の途中で仕事が集まっている社員を効率的に見出すことが可能。業務の再配分を行なって過度な労働を防ぐことができます。

■常に最新の法改正に対応



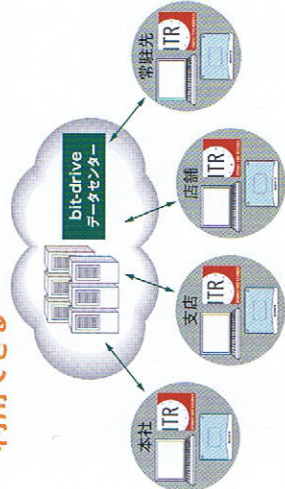
常に法改正に対応して、新しい法律に準拠していきます。労働基準法に沿った適切な管理が、コンプライアンス体制の強化につながります。

point 03

導入・運用も
らくらく

インターネットタイムレコーダーはインターネットを利用したASPサービス。お客さま専用のインフラを用意する必要がありません。そのため、安価かつ短期間で導入でき、管理負担やコストも最小限に抑えた運用が可能です。

■ASPだから手軽にどこでも
利用できる



ASPだからシステム開発、サーバ管理は必要ありません。月額利用料をお支払いいただくだけで、バージョンアップやメンテナンスはbit-driveにお任せ。

■お使いのパソコンと
FeliCaカードで準備完了



USB対応のリーダー/ライターPaSoRi(パソリ)[※]

インターネットに接続したパソコンとFeliCaポート、FeliCa対応のICカードがあれば準備完了。新たな機器を取り揃える必要はありません。

※USB対応のリーダー/ライターPaSoRi(パソリ)またはFeliCaポート搭載のパソコンをご用意ください。

■最短10日営業日でご利用開始

10days

お申し込みから最短10営業日でご利用開始。迅速な対応が御社の素早い組織力強化に貢献します。